

【庶務報告】

2022年度第1回役員会

日時: 2022年5月27日(金) 16:30~17:30

場所: web会議 (zoom)

議事録抜粋

1. 報告事項

1) 2021年度事業報告

薩本企画責任幹事より資料1に基づいて2021年度事業報告がなされた。2021年度遠隔講演会の参加者は部会員31名, 一般16名の計47名との報告があった。

2) 2021年度会計決算報告

深沢会計責任幹事より資料2-1, 2-2に基づいて2021年度決算報告がなされた。

平林監事より資料2-3に基づき監査報告がなされた。

3) 2021年度編集報告

前田編集責任幹事より資料3に基づいて被服衛生学第41号発行について報告がなされた。2021年2月15日に発行, HPにも掲載済み。

封筒の印刷に加え, 遠隔講演会の要旨を同封したため, 郵送費がやや高額になったとの報告があった。

4) 2021年度庶務報告

佐藤(希)庶務責任幹事より資料3に基づいて2021年度の会員動向が報告された。

5) 2021年度ホームページ活動報告

傳法谷HP責任幹事より2021年度HPについて, 2021年度はトラブルもなく運用できたとの報告がなされた。

6) 第40回被服衛生学セミナーについて

佐藤(真)第40回被服衛生学セミナー実行委員長より進捗状況が報告された。第40回の節目の大会であるので, 被服衛生学の歩みを振り返るような企画を検討中であることが報告され, その意図についての質問があった。参加費についても意見が求められ, 5月29日の総会までに決定することが確認された。

7) 日本家政学会2022年度活動助成申請結果

内田部会長より, 2022年度の活動助成は, 被服衛生学セミナー72, 388円, 公開講座は66, 821円と, 2件の助成が承認されたとの報告がなされた。

2. 審議事項

1) 2022年度事業計画について

薩本企画責任幹事より資料5に基づいて2022

年度公開講座の企画が提案され, 提案通り開催が承認された。内容は3名の部会員, 2名の外部講師で構成し, 11月~3月の土日で行う予定とのこと。

2) 2022年度予算案について

深沢会計責任幹事より資料6に基づいて予算案が提案され, 承認された。

本部からの助成金は近年10万円満額の助成が少なくなっていることより, 今後の予算編成の際には本部からの助成額をより現実的な金額で計上する方がよいとの意見もあった。

3) 2022年度編集計画案について

前田編集責任幹事より資料7に基づいて2022年度部会誌第42号編集案が提案され, 承認された。総会での承認後原稿依頼をする予定とのこと。原著論文と資料の定義についての明文化と部会員以外の先生への査読料の検討を行いたいとのこと。

4) 2022年度ホームページ計画案について

傳法谷HP責任幹事よりHPの更新とマニュアルの作成という活動方針が提案され, 承認された。部会誌については, 原則モノクロとし要望があればカラーで掲載することが確認された。

5) 第41回被服衛生学セミナーについて

内田部会長より, 第41回被服衛生学セミナーは関西地区で, 実行委員長は芝崎先生(奈良女子大学)で開催することが提案され承認された。

6) 名誉会員の推挙について

内田部会長より資料8に基づいて, 平田耕造先生が名誉会員として推挙され, 承認された。

7) 次期部会長選挙管理委員会の設置について

内田部会長より, 次期部会長選挙に伴う選挙管理委員会のメンバーとして, 丸田先生(委員長), 前田先生, 傳法谷先生の3人が提案され, 承認された。

2022年度総会

日時: 2022年5月29日(日) 12:00~12:40

場所: web会議 (zoom)

参加者: 26名 委任状: 10名

議事録抜粋

1. 報告事項

1) 2021年度事業報告

薩本企画責任幹事より資料1に基づいて2021年

度遠隔講演会の報告がなされた。

2) 2021 年度会計決算報告

深沢会計責任幹事より資料 2-1, 2-2 に基づいて 2021 年度決算報告がなされた。管理費の消耗品のセミナー用の角印は部会で管理し、セミナーで使い続ける印であるとの説明がなされた。

平林監事より資料 2-3 に基づき監査報告がなされた。

3) 2021 年度編集報告

前田編集責任幹事より資料 3 に基づいて、第 41 号の発行が報告された。

4) 2021 年度庶務報告

佐藤(希)庶務責任幹事より資料 3 に基づいて 2021 年度の会員動向が報告された。

5) 2021 年度ホームページ活動報告

傳法谷 HP 責任幹事より 2021 年度は外部からの攻撃もなく順調に運用できたとの報告がなされた。

6) 第 40 回被服衛生学セミナーについて

佐藤(真)第 40 回被服衛生学セミナー実行委員長より資料 4 に基づいて報告がなされた。参加に加え、8 月 23 日午前中の研究発表に対する応募の呼びかけもなされた。

7) 日本家政学会 2022 年度活動助成申請結果

内田部会長より、被服衛生学部会からは 2 件の申請を行い、2022 年度の被服衛生学セミナーは 72, 388 円、公開講座は 66, 821 円の助成が承認されたことの報告がなされた。

8) その他

なし。

2. 審議事項

1) 2022 年度事業計画について

薩本企画責任幹事より資料 5 に基づいて 2022 年度公開講座の企画が提案され、提案通り開催が承認された。Zoom による公開講座とし、内容は 3 名の部会員、2 名の外部講師で構成することのこと。また参加費は無料とし、要旨集は作成しないとのこと。

2) 2022 年度予算案について

深沢会計責任幹事より資料 6 に基づいて予算案が提案された。事業費のセミナー・講演会等通信費は昨年度実績を踏まえ増額し、広報費は昨年度実績を踏まえ減額しているとの説明がなされ、予算案通り承認された。

3) 2022 年度編集計画案について

前田編集責任幹事より資料 7 に基づいて 2022 年度編集案が提案され、承認された。今後の課題として、原著論文と資料の定義についての明文化と部会員以外の先生への査読料の検討を行いたいとのこと。

4) 2022 年度ホームページ計画案について

傳法谷 HP 責任幹事より HP の更新と次年度の担当者への引継ぎ資料としてマニュアルの作成という活動方針が提案され、承認された。部会誌については、原則モノクロであるが、ホームページではカラーで掲載することも可能であると説明された。

5) 第 41 回被服衛生学セミナーについて

内田部会長より、第 41 回被服衛生学セミナーは関西地区担当で実行委員長は芝崎先生(奈良女子大学)で開催することが提案され、承認された。

6) 名誉会員の推挙について

内田部会長より資料 8 に基づいて 2022 年度名誉会員の推挙について提案がなされ、承認された。

7) 次期部会長選挙管理委員会の設置について

内田部会長より、次期部会長選挙に伴う選挙管理委員会のメンバーとして、丸田先生(委員長)、前田先生、傳法谷先生の 3 人が提案され、承認された。

8) その他

佐藤(希)庶務責任幹事より、審議事項(6)に伴う会員種別変更による会員動向の変更が報告された。

2022 年度第 2 回役員会

日時：2022 年 8 月 22 日(月) 11:00~12:00

場所：web 会議 (zoom)

議事録抜粋

1. 報告事項

1) 企画担当報告

薩本企画責任幹事より、資料 1-1 に基づき 2022 年度被服衛生学部会公開講座(案)の報告がなされた。

2) 会計担当報告

深沢会計責任幹事より、本年度の部会費の納入状況について報告がなされた。学生及び賛助会員については全員納入済み、正会員は 23 名未納であるとのこと。またセミナー終了後に一斉メールにて納入を促すとのことであった。

3) 編集担当報告

前田編集責任幹事より, 資料 2 に基づき 2022 年度部会誌 42 号構成 (案) の報告がなされた。原著 1 つは校了済みであり, 研究室紹介は募集中, 書籍紹介については案のため, 申し出てほしいと要望された。公開講座の要旨集は今年度は紙媒体では作成しないため, 同梱しないと訂正があった。

第 40 回被服衛生学セミナー要旨集の同梱について, 議論がなされ, 昨年度は参加者だけであったが, 今年度は 40 周年の記念でもあり, 会員全員に同梱することとなった。

公開講座報告と第 3 回役員会議事録は, 開催時期により次年度の部会誌に掲載されることもありうることを確認された。

4) 庶務担当報告

佐藤 (希) 庶務責任幹事より, 資料 3 に基づき会員動向の報告がなされた。

5) HP 担当報告

傳法谷 HP 担当責任幹事より, これまでの主な活動 (第 40 回被服衛生学セミナー案内のホームページへのアップと更新, ホームページ作成マニュアル作成, メーリングリストの改変など) について報告がなされた。

6) 第 40 回被服衛生学セミナー報告

佐藤 (真) 第 40 回セミナー実行委員長より, 資料 4-1, 4-2 に基づき第 40 回被服衛生学セミナー (第 40 回記念シンポジウム) 開催について報告がなされた。

7) その他

なし。

2. 審議事項

1) 第 41 回被服衛生学セミナーについて

内田部会長より資料 5 に基づき第 41 回被服衛生学セミナーについて提案され, 審議の結果了承された。奈良女子大学, 大和ハウスとの共催について, 今まで後援はあるが, 共催はないのではないかと指摘があり, 次期セミナー実行委員長である芝崎先生に確認することとなった。

2) 次期部会長選挙結果について

内田部会長より, 丸田選挙管理委員長からの選挙結果として, 8 月 9 日開票の結果, 有効投票数 49 票中, 潮田先生が一番多かったことの報告を受けたとの説明がなされた。これを受け, 次期部会長に潮田先生を選出することについて, 審議の結果, 了承された。

3) 2022 年度 被服衛生学部会公開講座の日程と研究発表募集について

薩本企画責任幹事より, 資料 1-2 に基づき 2022 年度被服衛生学部会公開講座の候補日程と研究発表募集について提案され, 審議の結果了承された。日程の最終決定は, 募集している 3 人目の発表者と, 役員との調整で決めていくことが確認された。

4) 海外在住の会費について

深沢会計責任幹事より, 資料 6 に基づき海外在住会員の会費の値上げが提案された。審議の結果, 提案どおり承認された。

5) 海外会員関連の規約改変

内田部会長より, 先の審議事項 (海外在住会員の会費の値上げ) を受け, 資料 7 に基づく既定の改変が提案された。審議の結果, 改変後, 運用等を鑑み, 年度途中の臨時総会ではなく, 総会審議とし, 臨時総会の議案から外すことで承認された。

2022 年度臨時総会

日時: 2022 年 8 月 23 日 (火) 12:10~13:00

場所: web 会議 (zoom)

参加者: 25 名 委任状 9 名

1. 報告事項

1) 企画担当報告

薩本企画責任幹事より, 資料 1-1 に基づき 2022 年度被服衛生学部会公開講座 (案) の報告がなされた。

2) 会計担当報告

深沢会計責任幹事より, 本年度の部会費の納入状況について報告がなされた。学生及び賛助会員については全員納入済み, 正会員は 23 名未納であるとのこと。またセミナー終了後に一斉メールにて納入を促すとのことであった。

3) 編集担当報告

前田編集責任幹事より, 資料 2 に基づき 2022 年度部会誌 42 号構成 (案) の報告がなされた。原著 1 つは校了済みであり, 研究室紹介は募集中, 書籍紹介については案のため, 申し出てほしいと要望された。公開講座の 2022 年度要旨集は紙媒体では作成しないため, 同梱しないと訂正があった。第 40 回被服衛生学セミナー要旨集の同梱について, 現在検討中であると報告された。

公開講座報告と第 3 回役員会議事録は, 開催時期により次号にまわることもありうることを報告された。

4) 庶務担当報告

佐藤(希)庶務責任幹事より, 資料3に基づき
会員動向の報告がなされた。

5) HP 担当報告

傳法谷 HP 責任幹事より, これまでの主な活動
(第40回被服衛生学セミナー案内のホームページへのアップと更新, ホームページ作成マニュアル作成, メーリングリストの改変など)について
報告がなされた。

6) 第40回被服衛生学セミナー報告

佐藤(真)第40回被服衛生学セミナー実行委員
長より, 第40回被服衛生学セミナー(第40回
記念シンポジウム)が無事に終了したことが報告
された。参加者は78名との報告がなされた。

7) その他

なし。

2. 審議事項

1) 第41回被服衛生学セミナーについて

内田部会長より資料5に基づき第41回被服衛
生学セミナーについて提案され, 審議の結果了承
された。

2) 次期部会長選挙結果について

丸田選挙管理委員長から, 8月9日の開票の結
果, 有効投票数49票中, 潮田ひとみ先生(東京家
政大学)を推薦する票が一番票多かったこと, そ
の結果を部会長に伝えた旨報告があった。この結
果を受けて, 内田部会長より, 次期部会長に潮田
先生を選出することについて提案され, 審議の結
果了承された。

3) 2022年度 被服衛生学部会公開講座の日程と
研究発表募集について

薩本企画責任幹事より, 資料1-2に基づき2022
年度被服衛生学部会公開講座の候補日程と研究発
表(1件)募集について提案され, 審議の結果了
承された。日程の最終決定は, 募集している3人
目の発表者と, 役員との調整で決めていくことが
確認された。

4) 海外在住の会費について

深沢会計責任幹事より, 資料6に基づき海外在
住会員の会費の値上げ(2500円→4000円)が提案
された。審議の結果, 提案どおり承認された。

5) その他

総会成立のための定足数に関して質問があっ
たが, 部会規約, 内規に総会の定足数に関して記
載がないことが明らかになった。今後, 他学会や

他部会の規約を参考に庶務を中心に定足数を検討
することとした。

以上